

GARAX

SPORT DEVICE INSPIRE

S.D.i.

MINICON

SDI ミニコン

Powered by **GARAX**

取扱説明書

この度はギャラクス SDI ミニコンをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書はお取付け及びご使用に大切な内容となっております。必ず本書をご覧になってから、お取付け及びご使用頂きますようお願い致します。

GARAX

目次

安全上の注意	1
使用上の注意	1
取付上の注意	1
構成部品	2
SDI ミニコン取付	2・3
レスポンスリング取付	4
動作確認・設定方法	5
トラブルチェック	6
30 アルファード / ヴェルファイア (AGH)	7
30 アルファード / ヴェルファイア (GGH)	8
20 アルファード / ヴェルファイア (ANH)	9
20 アルファード / ヴェルファイア (GGH)	9
20 アルファード / ヴェルファイア ハイブリッド	10
50 エスティマ (ACR)	11
50 エスティマ (GSR)	11
20 エスティマ ハイブリッド	12
80 ノア / ヴォクシー / エスクァイア	13
80 ノア / ヴォクシー / エスクァイア ハイブリッド	14
70 ノア / ヴォクシー	15
30 プリウス	16
プリウス α	17
N-BOX (NA 11. 12 ~ 13. 12)	18
N-BOX (NA 13. 12 ~)	19
N-ONE (NA 12. 11 ~ 14. 05)	20
N-ONE (NA 14. 05 ~)	21
N-WGN (NA)	22
MH34 ワゴン R / スティングレー	23

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。

本製品を安全に取付、使用して頂くために、取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使い下さい。

※誤ったご使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承下さい。

警 告

- 取付作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所で行って下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態で行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、火傷等の危険があります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないで下さい。分解・改造によって高電圧スパーク、絶縁不良、回路のショート等本製品の故障や車両火災の原因になります。また、分解・改造をした製品は保証を受けられません。
- 本製品に損傷を発見した場合は直ちに作業を中止して下さい。
- 本製品は精密な電子機器です。落としたり、配線を引っ張ったりしないで下さい。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- 本製品はエアフロ（圧力）センサー信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合がありますので慎重に取り扱い下さい。なお、何かの原因で車両の不良・事故が発生しても弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

注 意

- 本製品の取り付けには、専門知識を熟知した技術を必要とします。一般の方は専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品及びハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置しないで下さい。故障・火災の原因になります。
- 本製品は車両の電子制御に関わる製品です。接続位置・接触不良のないように慎重に作業を行って下さい。
- ネジの締め忘れ、ダクトの勘合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす場合があります。慎重に作業を行って下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業を行って下さい。
- 配線を傷つける、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を載せる、熱器具へ近づける、高温部に接触させるなどしないで下さい。断線やショートにより、火災や感電・事故の原因になります。また、配線を車両やネジ・クリップ等へ挟み込まないように通して下さい。
- 本書に従って正しく配線・取り付けして下さい。火災・事故等の原因になります。

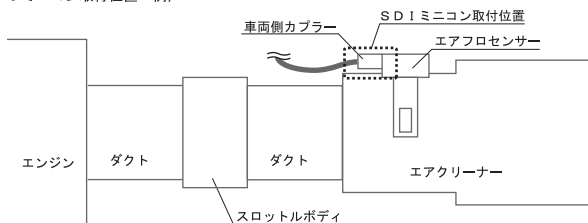
使用上のご注意

- 走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 誤った使用、改造されての使用、他社製品との併用によるトラブルは、その原因の内容に関わらず、一切クレームの対象となりませんのでご注意下さい。
- 配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
- 本製品は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 走行中などでエンジンチェックランプが点灯した場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し、1～2分後にノーマルセッティングまたはノーマル復帰状態にして再始動させて下さい。
- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させ、原因を解決してからリング・SDI ミニコンを使用して下さい。
- SDI ミニコンは純正状態でレスポンスが向上するセッティングになっています。エアクリーナやマフラー等が他社製品等に交換されている場合は本来の性能を発揮できない恐れがあります。

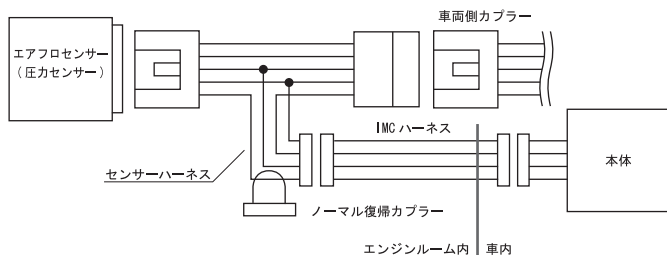
SDI ミニコン本体 × 1、センサーハーネス × 1、IMC ハーネス × 1、レスポンスリング × 1、
結束バンド × 4、両面テープ × 1

SDI ミニコン 取付

〈SDI ミニコン取付位置一例〉

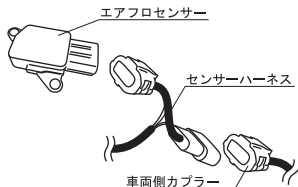


〈SDI ミニコン取付詳細図〉



〈取り付け作業の注意〉

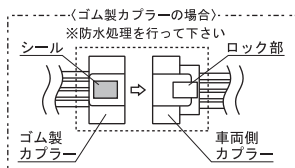
- 取り付け作業はエンジンキーを抜いてから約5分以上経過してから行って下さい。完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業を行った場合、エンジンチェックランプが点灯します。
- 取り付け作業はバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合、ECUの学習がリセットされ、エンジン不調等の症状が発生する可能性があります。
- 本体・配線は点火系・インジェクター系・アンプ系・HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは避けて下さい。ノイズにより誤作動する危険があります。
- 接続は確実に行って下さい。誤接続すると破損する恐れがあります。
- 防水処理は確実に行って下さい。故障等の原因になります。
- センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合新品と交換する事を推奨致します。



1. エアフロセンサーに接続されているコネクターを取り外し、センサーハーネスのメスコネクターを取り付けて下さい。

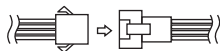
2. エアフロセンサーに接続されていた車両側コネクターにセンサーハーネスのオスコネクターを取り付けて下さい。

※一部車種に限り、圧力センサーへセンサーハーネスを接続する場合があります。詳細に関しては、車種専用ページでご確認下さい。

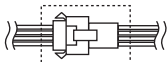


3. センサーハーネスオスコネクターがゴム製コネクターの場合、表裏の向きがあります。必ず黄色シールが貼っている部分と車両側コネクターのロック部を合わせて接続して下さい。接続後必ず防水処理を行って下さい。

※ゴム製コネクターを誤接続するとセンサーが破損する恐れがあります。向き・左右を確認し、確実に接続して下さい。



※防水処理を行って下さい



4. センサーハーネスの4極コネクターにIMCハーネスの4極コネクターを接続して下さい。

※コネクター部はビニールテープ等で防水処理を行って下さい。

5. IMCハーネスと本体ハーネスを接続し、本体を固定して下さい。

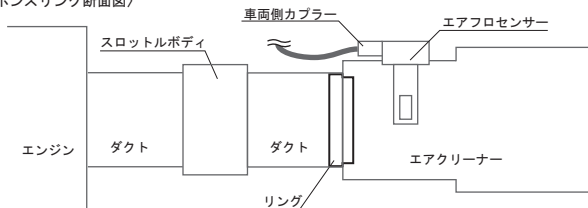
※本体をエンジンルーム内に固定する場合は、本体ハーネスとセンサーハーネスを接続し、本体LED側に付属のゴムカバーを被せ、配線・スイッチ側を下向きにして、水・熱の影響を受けない位置に固定して下さい。

レスポンスリング取付

GARAX

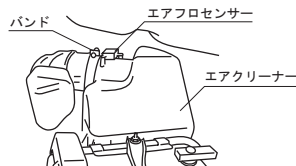
※リングの数箇所アルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。

〈レスポンスリング断面図〉



〈取り付け作業の注意〉

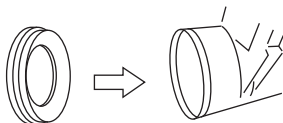
- 取り付け作業はエアフロセンサーのコネクタを抜く場合があります。エンジンを停止させ5分以上経過してから作業を行って下さい。
→エンジン停止直後にカブラーを抜いた場合、エンジンチェックが点灯してしまう場合があります。
- 取り付け作業はバッテリーを外さずに行ってください。
→ECUの学習がリセットされ、エンジン不調等の症状が発生する可能性があります。



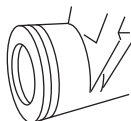
1. エアクリナーとダクトを接続しているバンドを緩めて下さい。

※一部車種に限り、エアクリナー側スロットルボディ前のダクトに取り付ける場合があります。詳細に関しては、車種専用ページでご確認下さい。

2. エアクリナーとダクトを切り離して下さい。
※ダクト内にネジ・ゴミ等を落下させないように注意して下さい。



3. リングを取り付けて下さい。
※リングには装着方向があります。小さい径の部分がエアクリナー側になります。



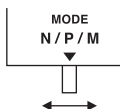
4. リングを取り付けた状態で、ダクトを奥まで差し込んで下さい。
※リングの厚み分、ダクトが浮いた状態になりますが問題ありません。
5. バンドを締め、ダクトを固定して下さい。

〈SDI ミニコン動作確認方法〉

- 本体が正常に働いているか本体横のLEDの状態とエンジンの吹き上がりにて確認して下さい。
 □イグニッション ON で LED が点灯するか確認して下さい。
 □エンジンが正常に吹き上がるか確認して下さい。

〈設定方法〉

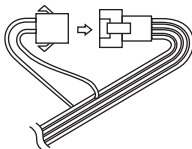
- SDI ミニコンは本体横の切替スイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。
 最適なモードに設定して下さい。



N (NORMAL MODE)	ノーマルセッティング (純正状態)
P (PERFORMANCE MODE)	レスポンスリングを装着していない状態でのエンジンフィーリングを向上させたセッティング
M (MAXIMUM MODE)	レスポンスリング装着状態でエンジンフィーリングを向上させたセッティング

〈SDI ミニコンノーマル復帰方法〉

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して下さい。



1. センサーハーネスの4極カプラーと IMC ハーネスの4極カプラーを取り外して下さい。
2. センサーハーネス側へノーマル復帰カプラーを接続して下さい。

※ノーマル復帰しても不調状態が直らない場合は、センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。完全にノーマル状態に戻しても直らない場合、SDI ミニコンの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

〈レスポンスリング動作確認方法〉

- エンジンが正常に吹き上がるか確認し、エンジンチェックランプが点灯しないか確認して下さい。
 □エンジンが正常に吹き上がるか確認して下さい。
 □エンジンチェックランプが点灯していないことを確認して下さい。

走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹き上がらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し停車させ、エンジンを停止し1～2分後にミニコンをノーマル復帰をして再始動させて下さい。

※ノーマル復帰をしても不調が直らない場合は、センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。完全にノーマル状態にしても直らない場合、SDI ミニコンの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

〈アイドリング不調〉

- ハーネスの接続等を再確認して下さい。
- 防水処理が確実にされているか確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーを外してしまうとアイドリング学習が必要です、カーディーラー様等にご確認下さい。
- エアフロセンサー（圧力センサー）のカプラーが接続されているか再確認して下さい。
- ダクトが確実に挿入されているか、エア漏れがないか、再確認して下さい。

〈エンジンチェックランプ点灯、吹き上がらない〉

- ハーネスの接続等を再確認して下さい。
- 防水処理が確実にされているか確認して下さい。
- エアクリーナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。エアクリーナー周りを清掃及びエアクリーナーの新品交換を行って下さい。

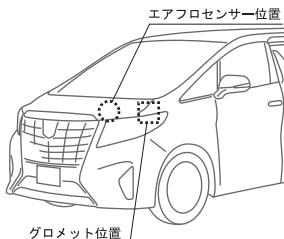
〈純正部品の取り外しができない〉

- お近くのカーショップ、カーディーラー様にお問い合わせ下さい。

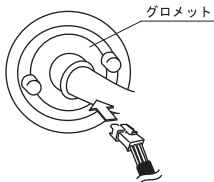
～セッティングコンセプト～

低速トルクに余裕のある 2.4L ～ 3.0L エンジンの 2000 r p m からの吹け上がりを重点にセッティングをおこないました。

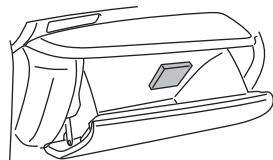
高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。



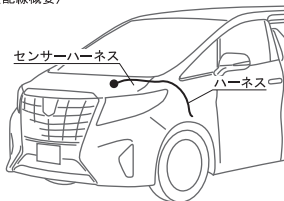
グローブボックス位置



グローブボックス



〈配線概要〉



センサーハーネス

ハーネス

〈取付確認車両〉 アルファード
2.5S H27 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. アルファード / ヴェルファイアはエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローブボックスがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローブボックスに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)

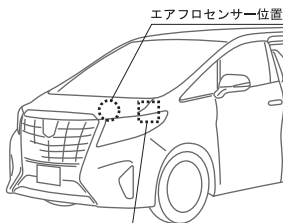
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

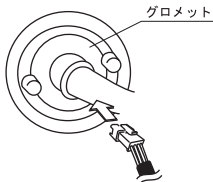
～セッティングコンセプト～

低速トルクに余裕のある 2.4L ～ 3.0L エンジンの 2000 r p m からの吹け上がりを重点にセッティングをおこないました。

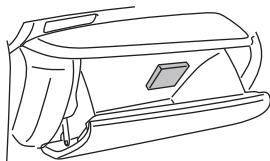
高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。



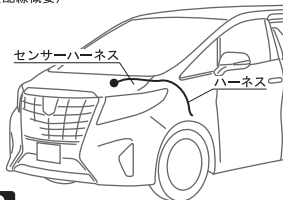
グローメット位置



グローメット



〈配線概要〉



センサーハーネス

ハーネス

〈取付確認車両〉 ヴェルファイア

3.5ZA H23 年式

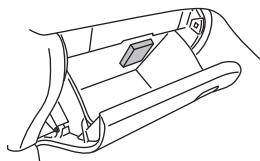
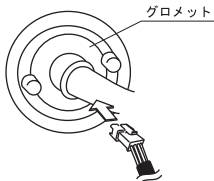
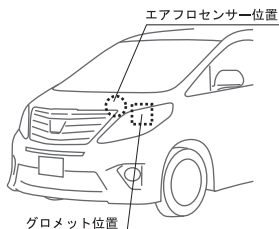
※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. アルファード / ヴェルファイア (GGH) はレスポンスリングをスロットルボディ前に取り付けて下さい。取り付けの際、ダクトに繋がっているホースを一旦取り外してからダクトを脱着しリングを取り付けて下さい。取付に関しては取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。
2. アルファード / ヴェルファイア (GGH) はエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。
3. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。
4. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。
5. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。
6. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

低速トルクに余裕のある 2.4L ～ 3.0L エンジンの 2000 r p m からの吹け上りを重点にセッティングをおこないました。

高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 アルファード
2.4S H23 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. アルファード / ヴェルファイアはエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローブボックスがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローブメントに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

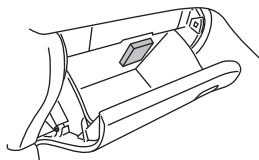
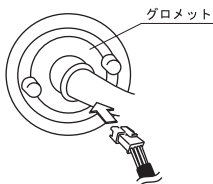
5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

トヨタハイブリット車のエンジン作動時の中速レスポンスの改善に重点をおきセッティングをおこないました。

高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

※あくまでエンジン作動時の制御の為、モーター走行時には効果が出ませんのでご了承下さい。



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 ヴェルファイアハイブリッド

ZR H23 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. アルファード / ヴェルファイアハイブリッドはエアフロセンサーがエンジン上、奥にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグロメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグロメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

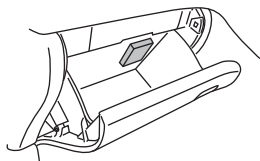
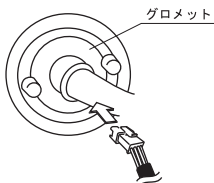
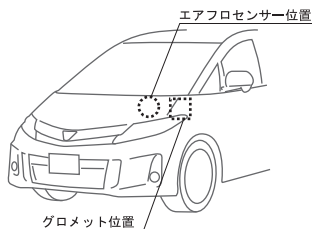
低速トルクに余裕のある 2.4L ～ 3.0L エンジンの 2000 r p m からの吹け上りを重点にセッティングをおこないました。

高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

＜取付確認車両＞ エスティマ 3.5

アエラス S パッケージ H19 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。



＜配線概要＞



1. 50 エスティマはエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローブボックスがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローブメントに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

トヨタハイブリッド車のエンジン作動時の中速レスポンスの改善に重点をおきセッティングをおこないました。

高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

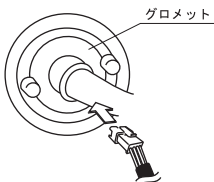
※あくまでエンジン作動時の制御の為、モーター走行時には効果が出ませんのでご了承下さい。

＜取付確認車両＞ エスティマハイブリッド

G H19 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. 20 エスティマハイブリッドはエアフロセンサーがエンジン上、奥にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。



2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

＜配線概要＞



5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

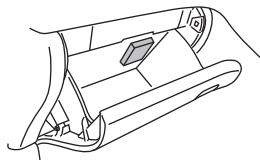
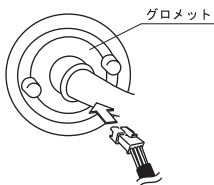
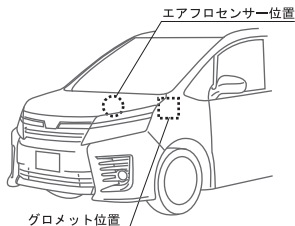
～セッティングコンセプト～

低速トルクに余裕のある 2.4L ～ 3.0L エンジンの 2000 r p m からの吹け上がりを重点にセッティングをおこないました。

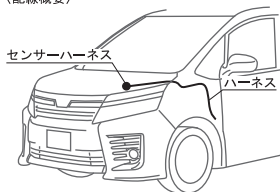
高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

＜取付確認車両＞ ヴォクシー
ZS H26 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。



＜配線概要＞



1. 80 ノア / ヴォクシー / エスクァイアはエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

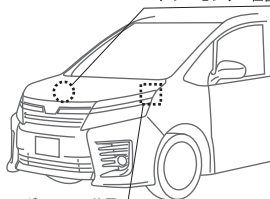
～セッティングコンセプト～

トヨタハイブリッド車のエンジン作動時の中速レスポンスの改善に重点をおきセッティングをおこないました。

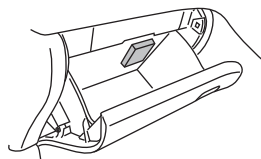
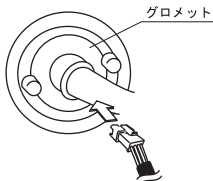
高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

※あくまでエンジン作動時の制御の為、モーター走行時には効果が出ませんのでご了承下さい。

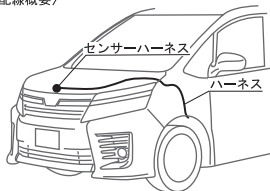
エアフロセンサー位置



グローメット位置



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 ヴォクシー

ハイブリッドV H26 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. 80 ノア/ヴォクシー/エスクァイアハイブリッドはエアフロセンサーがエンジンルーム中央、手前にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

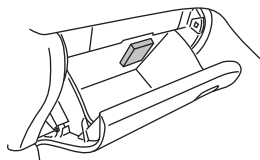
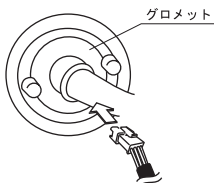
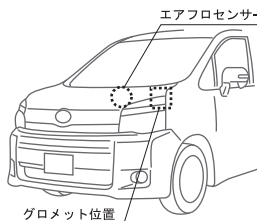
～セッティングコンセプト～

実用域性能が高いエンジンの低速域からのレスポンスをねらったセッティングをおこないました。
高速域はノックリタードを回避するためノーマル値をインプットしてあります。

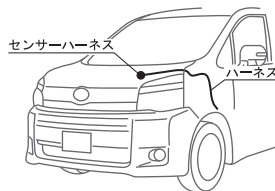
＜取付確認車両＞ ヴォクシー

ZS H22 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。



＜配線概要＞



1. 70 ノア / ヴォクシーはエアフロセンサーが助手席側にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

トヨタハイブリット車のエンジン作動時の中速レスポンスの改善に重点をおきセッティングをおこないました。

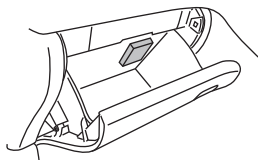
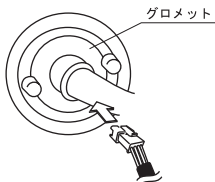
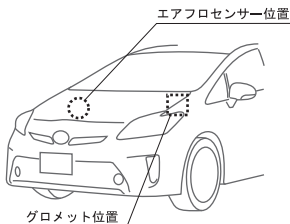
高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

※あくまでエンジン作動時の制御の為、モーター走行時には効果が出ませんのでご了承下さい。

＜取付確認車両＞ プリウス

S ツーリングセレクション H21 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。



＜配線概要＞



1. 30 プリウスはエアフロセンサーがエンジンルーム中央、手前にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローメットがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。

※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）

※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

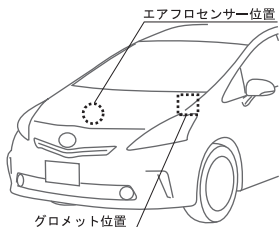
5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

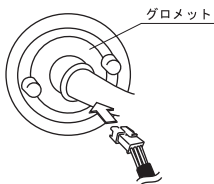
トヨタハイブリット車のエンジン作動時の中速レスポンスの改善に重点をおきセッティングをおこないました。

高速域はノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

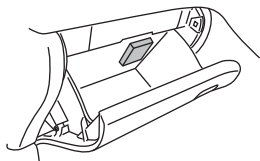
※あくまでエンジン作動時の制御の為、モーター走行時には効果が出ませんのでご了承下さい。



グローブボックス位置



グローブボックス



〈配線概要〉



センサーハーネス

ハーネス

＜取付確認車両＞ プリウス α
G グレード H23 年式
※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. プリウス α はエアフロセンサーがエンジンルーム中央、手前にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、助手席側奥にグローブボックスがありますので、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローブボックスに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。（弊社推奨位置）
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。

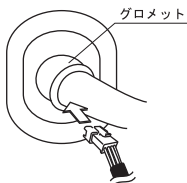
～セッティングコンセプト～

低速から高速までストレスなく回っていく S07 エンジン、レスポンス UP を重点に置きセッティングをおこないました。

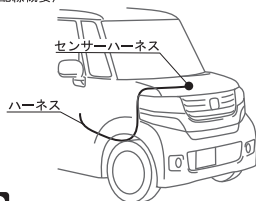
圧力センサー位置



グロメット位置



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 N-BOX カスタム

G H23 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. N-BOX (NA 11.12 ~ 13.12) は圧力センサーがエンジンルーム内、中央奥にあります。取付ページを参照し、圧力センサーに製品を取り付けて下さい。

2. タイヤハウスのインナーカバーを取り外すとグロメットがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグロメットに防水処理を行って下さい。

3. 運転席足元に延長配線が来ますので、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体を図のようにアンダーパネルに付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければカバー等を元に戻して下さい。

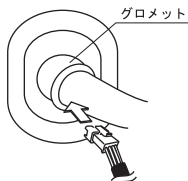
～セッティングコンセプト～

低速から高速までストレスなく回っていく S07 エンジン、レスポンス UP を重点に置きセッティングをおこないました。

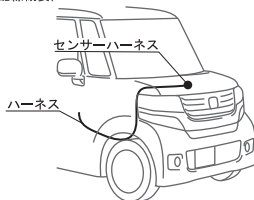
エアフロセンサー位置



グローメット位置



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 N-BOX

G H26 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. N-BOX (NA 13.12 ~) はエアフロセンサーがエンジンルーム中央のエアクリーナーの横にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. タイヤハウスのインナーカバーを取り外すとグローメットがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

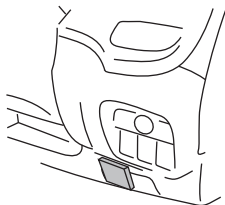
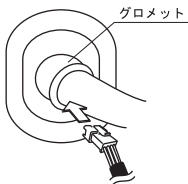
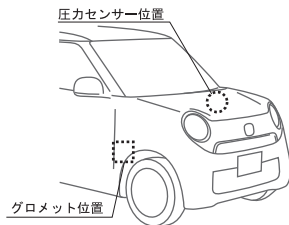
3. 運転席足元に延長配線が来ますので、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体を図のようにアンダーパネルに付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

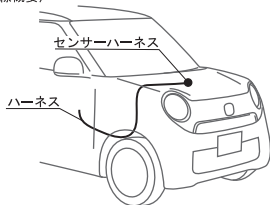
5. 動作確認を行い、問題がなければカバー等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

低速から高速までストレスなく回っていく S07 エンジン、レスポンス UP を重点に置きセッティングをおこないました。



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 N-ONE

G H24 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. N-ONE (NA 12.11 ~ 14.05) は圧力センサーがエンジンルーム内、中央奥にあります。取付ページを参照し、圧力センサーに製品を取り付けて下さい。

2. タイヤハウスのインナーカバーを取り外すとグロメットがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグロメットに防水処理を行って下さい。

3. 運転席足元に延長配線が来ますので、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

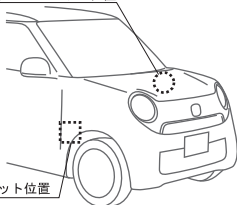
4. 本体を図のようにアンダーパネルに付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければカバー等を元に戻して下さい。

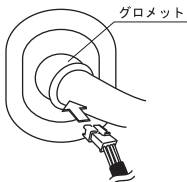
～セッティングコンセプト～

低速から高速までストレスなく回っていく S07 エンジン、レスポンス UP を重点に置きセッティングをおこないました。

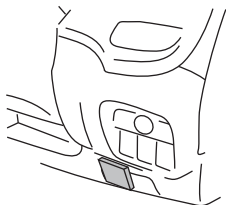
エアフロセンサー位置



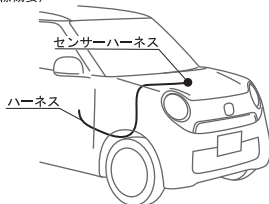
グローメット位置



グローメット



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 N-ONE

G H26 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. N-ONE (NA 14.05 ~) はエアフロセンサーがエンジンルーム中央のエアクリーナーの横にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. タイヤハウスのインナーカバーを取り外すとグローメットがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローメットに防水処理を行って下さい。

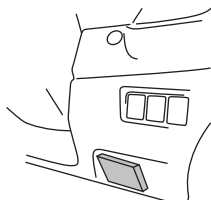
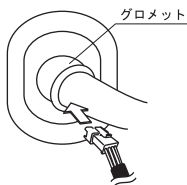
3. 運転席足元に延長配線が来ますので、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体を図のようにアンダーパネルに付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

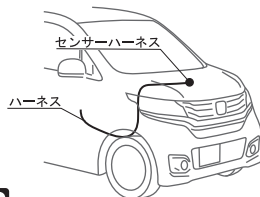
5. 動作確認を行い、問題がなければカバー等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

低速から高速までストレスなく回っていく S07 エンジン、レスポンス UP を重点に置きセッティングをおこないました。



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 N-WGN

G H26 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. N-WGN はエアフロセンサーがエンジンルーム中央のエアクリーナーの横にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. タイヤハウスのインナーカバーを取り外すとグロメットがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグロメットに防水処理を行って下さい。

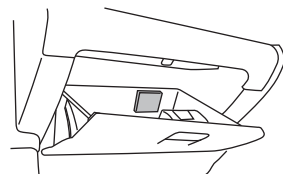
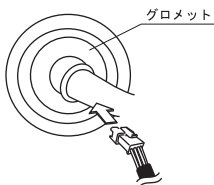
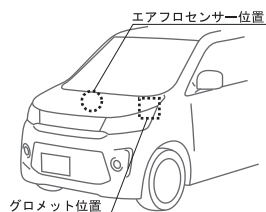
3. 運転席足元に延長配線が来ますので、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体を図のようにアンダーパネルに付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければカバー等を元に戻して下さい。

～セッティングコンセプト～

K06 エンジンを低速から高速までスムーズに回りことを重点に置き、更にレスポンス UP 計ることができるようセッティングをおこないました。



〈配線概要〉



〈取付確認車両〉 ワゴン R スティングレー
X H25 年式

※年式・グレードにより異なる場合があります。

1. MH34 ワゴン R/ スティングレー (NA) はエアフロセンサーがエンジンルーム中央のエアクリーナーの横にあります。取付ページを参照し、製品を取り付けて下さい。

2. バッテリー奥にグローブボックスがありますので、センサーハーネスと IMC ハーネスを接続し、ハーネスを車内へ引き込んで下さい。
※引き込みましたらグローブボックスに防水処理を行って下さい。

3. グローブボックスを取り外し、IMC ハーネスと本体を接続して下さい。

4. 本体をグローブボックス内に付属両面テープで固定して下さい。(弊社推奨位置)
※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

5. 動作確認を行い、問題がなければグローブボックス等を元に戻して下さい。